

り上がる大山脈地帯がある。

海溝では、より重い海洋プレートが大陸プレートの下に潜り込んでいく、日本付近にプレートは全てこのタイプ、従って浅発地震、時には深発地震が発生し、火山活動も活発になる。

大陸プレート同士が衝突すると、どちらも沈み込み出来ないので盛り上がる、それによる造山運動が、ヨーロッパ・アルプスやヒマラヤ山脈を生んだのです。

ずれる境界

プレートが動いてずれる境界を断層と呼び、海嶺を横切りしているのをトランスフォーム断層と呼ぶ。ところが海嶺でのずれの動きは離れる動きになるので、海嶺の外側では、ずれ運動のない特別な断層になっている。

この断層が陸上に出ている珍しい断層として、アメリカ西岸・カリフォルニア州にあるサンアンドレアス断層が有名です。

一寸前までは陸地が動くなって考えてもみませんでした、が、現在はプレートが動くことによって、大陸の移動、海洋底の拡大、造山運動等全てが科学的に説明がつき、理解されるようになりました。



日本付近のプレート



サンアンドレアス断層

Q：大陸移動説について説明して下さい。

A：プレートが動くことに着想したのは 1912 年、ドイツの地球物理学者アルフレッド・ウェゲナ - 博士で、当時はプレートの存在が判らず、大陸そのものが移動するのだとの仮説を打ち立て、かつては地球上に 1 ッの巨大な大陸（パンゲア）があり、それがいくつかに分裂して各大陸となり、更に分裂を繰り返し、現在世界地図が示すような形になったんだ、と説明したのです。

1910 年頃にウェゲナ - 博士が提唱した大陸移動説は、大西洋の両側の大陸の形のパズル